

とらみ



市議会だより



上越市名立区の皆さんの太鼓演奏 (10月11日火のアートフェスティバル)

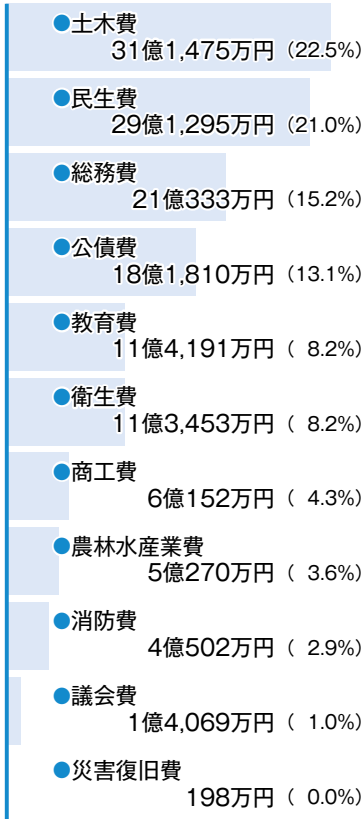
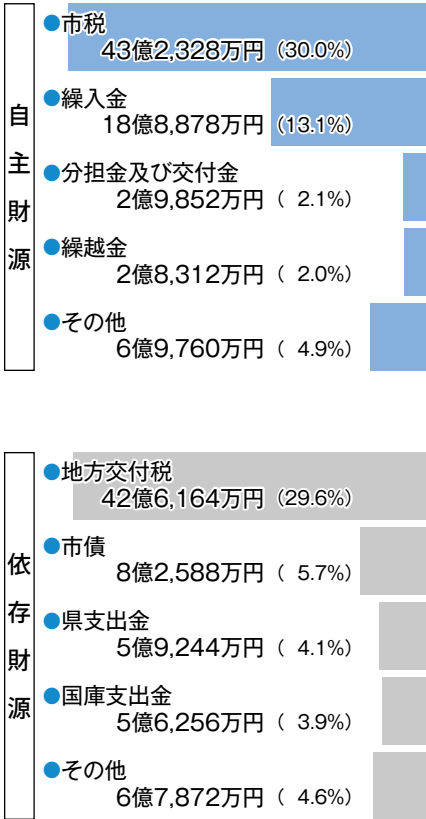
第3回定例会	2~3P
総括質疑	4~5P
常任委員会審査報告	6~7P
常任委員会行政視察報告	8~9P
一般質問	10~16P
承認・可決した条例等	16~17P
全員協議会だより	18P
議会のうごき	19P
私の一言	20P

Vol.23
2009 11/1

一般会計決算額

歳入 144億1,254万円

歳出 138億7,748万円



9月定例会

20年度各会計決算を認定

一般会計(歳出)

138億7748万円

平成21年第3回定例会は、9月1日から25日までの25日間の日程で開催され、平成20年度各会計決算を認定・21年度各会計補正予算を可決したほか、条例、請願、陳情などを審議した。

特別会計・公営企業会計の決算額

単位：万円

会計名		歳入(収入)	歳出(支出)	
特別会計	国民健康保険	30億6,265	28億873	
	老人保健	3億3,794	3億458	
	介護保険	20億7,712	20億3,833	
	地域改善地区住宅改修資金等貸付事業	986	3,185	
	工業地域開発事業	0	0	
	後期高齢者医療	2億1,083	2億694	
企業会計	水道事業	収益的	6億9,658	6億6,718
		資本的	2,741	5億2,354
	下水道事業	収益的	14億676	13億8,274
		資本的	15億1,004	20億96
	病院事業	収益的	15億1,524	14億7,522
		資本的	1,622	5,183

決算審査報告

事務事業、予算執行は明確かつ適切

代表監査委員 竹内春彦

東御市条例、監査基準に基づき年度当初に策定した監査計画により実施しました。その概要は各決算の審査、財政健全化判断比率審査をはじめ例月出納検査、定期監査、工事監査、貯蔵品棚卸監査や財政援助団体等の監査、指定金融機関・業務委託先業者に対する調査等で、平成20年度関係は延45日に及びました。

さらに定期監査に併せて実施した現場踏査は30箇所です。また、監査

委員が充て職で監事に就任している団体(土地開発公社・社会福祉協議会一般財団法人・土地改良区)の監査は延17回です。これらの審査、監査の結果、是正や改善が必要と認められた事項については、全て書面で監査意見を表明して所要の措置を求めました。事務的に軽微な事項はその都度改善を求めてきました。

監査計画を実施するに当たっては、各部署が日常の事務事業・予算

決算特別委員会 審査報告



決算特別委員長
山崎美喜子

また、生ごみ処理機購入者には有効活用を指導されたい。

一、ワイン特区の認定により、荒廃地対策及び地域活性化が期待される。

今後、地域のブランド化及び観光施策との連携を図り、市民との協働による事業推進を図られたい。

【審議の中で出された要望】

本委員会は、9月11日に付託された平成20年度東御市一般会計決算認定について、各常任委員会の予備審査結果に基づき、9月17日に審査した結果、原案を認定すべきものと決定した。

なお、原案を認定するにあたり次の意見を付することにした。

【付帯意見】

一、事務事業の中で各種委託料が多くあるが、業務委託にあたっては、積算根拠を明確にし、入札、随意契約に関わらず、契約業務内容を明示するとともに、執行状況を十分に精査するよう努められたい。

一、環境保全、クリーンセンターの管理費の削減にもつながる生ごみ堆肥化には様々な方法があるが、これを広く市民に情報提供し生ごみ堆肥化を推進されたい。

一、一般廃棄物最終処分場残余容量測量により、今後20数年間は使用可能との結果が出たが、最終処分場に一時保管した廃プラスチック搬出のための予算化をし、早急に残りの搬出に努められたい。

一、市内温泉4施設は市民の健康増進、福利厚生施設としての役割が大きい。

これまでも経営健全化に向けての努力は認められるが、更なる改善を図られたい。

の執行において、市民のニーズに根ざした市民生活の現場、事務事業の現在の実態(現実)、予算執行の財源(現物)の三現主義を貫き、コンプライアンス・アカウンタビリティ・エビデンス、即ち法令遵守、説明責任、科学的かつ合理的証拠が保たれ、市民の負託に忠実に奉仕されているのかに視点を当て、限られた日程内で調査の範囲等を定めて行いました。

公約の逐次整備を評価

平成20年4月花岡市政が誕生し、一年半を経過した中で市長就任の公約が、現場・現実・現物をベースとして逐次整備され、改選前後の市議会と健全な緊張関係を構築しながら、公約実現を果たしつつある実態は、評価に値するものがあります。

また、日常の事務事業や財務・予算執行の内容は明確かつ概ね適切で、一定の成果を収めており、大きな修

正すべき事項は存在しないと判断しました。

個別事項の主なものとして(1)一般会計では世界的経済不況の煽りを受け、法人市民税が前年度に比べ2億600万円減少、納税義務のある774法人のうち、法人税割を納めたものは264法人にとどまっています。(2)病院事業会計は2名の内科医が確保され入院、外来患者が増え、病床利用率が20%改善された結果、4000万円余の純利益が生まれ、繰越欠損金が減少しました。(3)財政健全化面では、借入金利率5%以上の既往債の繰上償還により、起債残高が19億9900万円余減少したことにより、財政健全化法で定めた将来負担比率109.4%、前年度比5.4%改善されました。(4)改革が必要とされる事項として、4温泉施設の経営刷新、病院事業会計繰越欠損金の解消、土地開発公社保有地の再調達時価評価とその流動化は急務な課題です。

加えて市所有の土地・工作物上における安全管理等、善良なる管理者の注意義務をより適切に果たす施策が必要と判断しました。地方自治法の下にある者の基本姿勢は透明・公正・堅実を貫くことにあり、市民の琴線に触れる対応が重要であります。



決算審査報告を行う竹内代表監査委員

野地籍を除く他の地域は、隣接の行政体から水をもらおうという地形ではないので、市全体で、水源対策を充実していきたい。

平成20年度

一般会計歳入歳出決算認定

問 総合計画後期策定業務委託料の計画策定する中で審議会やパブリックコメントで民意を聴く姿勢はあるが、市民側は、なかなか協働のまちづくりに参加する意識が醸しだされていない。より市民の声を反映できるプランを作っていた方がいいが。

市長 できるだけ早く白紙の状態の中で、市が考えていることをいろんなところで述べ意見をいただく。パブリックコメントの多少では計り知れないが、より多くいただくことは、ある意味では市民の問題意識



ワイン醸造施設予定地を現地調査する産業建設委員

の高さを図るメルクマークになることもある。

問 民生費は1億4200万円と不用品が多いが、不用の理由を聞きたい。また、障がい者のタクシー券の利用が半分だが、制度の周知をより工夫してはどうか。

副市長 民生費の執行率は94・6%である。より厳格に予算を決め、執行率を高めていかなければならぬ。支出がほとんど3月末で確定する関係のものでなく、民生費は38%が扶助費で、年度末ぎりぎりという支給要因が発生するか分からないので、ご理解いただきたい。

健康福祉部長 タクシー券など移送サービスは、障がい者の皆さんの社会参加にとって重要な事業、今後の検討課題とされている。

問 称津児童館の利用児童が多い中、以前から地域でも遊び場がないことで問題になっているが、どのような対策を取っているのか。

市長 称津保育園の建て替えの中で、ゲートボール場の使い方と旧称津小学校のプールの活用を含めて具体的に検討していく。

問 自治推進委員会費があるが、区長の仕事が多すぎるということで区長にどこまで仕事をやってもらうか、どこまで参加してもらうか市

の方で精査をする必要があると思うが。

総務部長 自治推進委員と区を代表する区長という二重の立場で活動を行っている中では、会議や行事等の出席依頼をすることが非常に多いが、お願いごと、出席要請など今後とも、精査していきたい。

問 総務管理費の職員研修事業費で人づくりの研修が少ない。本来的な

ことでないことで市民に不信を買うことは、行政マンとしてあるべきでない。コミュニケーション能力を磨く研修を取り上げていただきたいが。

市長 接客、接遇に関して職員研修を伸ばすことは非常に重要なことであるので、職員全体が研修を受けられるようにしたい。

21年度一般会計予算 1億9569万円補正を可決

9月11日、平成21年度一般会計歳入歳出予算にそれぞれ1億9569万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を134億320万3千円とする補正予算を可決した。

主な内容	(単位:万円、1万円未満四捨五入)
産学官連携事業諸経費	14
浄化槽台帳整備委託料	100
称津保育園改築設計委託料	1,300
市立保育園改築検討交付金	15
子育て応援特別手当給付事業費	3,346
住宅手当緊急特別措置事業費	491
生活・介護支援サポーター事業費	156
妊婦一般健康診査(超音波健診)補助金	212
生ごみ処理機器設置補助金	220
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	4,886
東御市観光大使業務委託料	61
緊急雇用創出事業 東御市緑の雇用創出事業委託料	750
ふるさと雇用再生特別事業委託料	370
緊急雇用創出事業 湯の丸高原観光景観保全業務委託料	390
道路後用地整備事業費	562
雷電太鼓発足40周年記念公演補助金	43
武道館暖房設備工事費	170

常任委員会審査報告

院内助産所設置準備

職員定数条例を一部改正

本委員会は、付託された20年度一般会計決算の所管分の予備審査及び改正条例案3件、請願3件継続審査となっていた陳情1件、国に対する意見書提出について審査を行った。

改正条例案「東御市職員定数条例の一部を改正する条例」は、市民病院へ院内助産所を設置すること及び準備、並びに医師確保のため、病院事業事務部局の職員を増員するものである。

「東御市一般職の職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例」は、退職後に懲戒免職処分を受けるべき行為をしたと認められるに至った者の退職手当の全部又は一部について、支給制限及び返納させることができることとする等である。

「長野県市町村自治振興組合を組織する市町村数の減少について」は、信州新町及び中条村が長野市に編入することに伴い、組合を組織する市町村数が減少するものであった。3条例案すべて原案通り可決すべきものとなった。

請願については、第2号、第3号は多数決で不採択すべきもの、第4号は全会一致で採択すべきものとの審査結果となった。

総務

デーサービス「みはらしの郷」と 居宅介護施設「愛和園」開所される

本委員会は所管6課の平成20年度一般会計及び特別会計5件、病院事業会計の決算の予備調査と条例1件、請願1件、陳情3件についての審査を行った。

特別会計5件、病院事業会計及び条例・請願・陳情については全議案を可決すべきものと決定した。

審査経過については議案第63号では、平成20年度末の全貸付対象者は31人で52件、その占める滞納者の数は分納者を含め18人で24件、5割以上に上る。収納対策については引き続き一層の努力をされたこととの意見が出された。その他審査の中で、市立保育園改築基本計画が打ち出され、地区ごとに検討する組織を設置し推進を図るとしている。

また、各園長に保育園の現状を聞く中で、身体教育医学研究所による園児の運動指導は、園児たちが楽しみにしているとのことであった。

環境保全においては一般廃棄物最終処分場の廃プラスチック搬出処理が急務との意見が出された。また、行政と市民が協働でできる生ごみ堆肥化を研究してはどうかとの意見も出された。

病院事業会計では、平成19年度に2名の内科医

社会

ワイン等醸造施設

耕作放棄地の解消に期待

本委員会は、9月14日、15日、20年度一般会計決算の所管事項の予備審査と議案4件(条例案1件含)について審査を行い、その後現地調査を行った。

条例については、東御市営住宅管理条例の一部を改正する条例を全会一致で可決した。議案第



11月完成予定の田中駅南口自由通路を調査

産業



浅間サンライン(井高)の地下道を現地調査

継続審査となっていた陳情第10号については、全会一致で採択すべきものとの審査結果となった。

「国に対する補正予算未執行部分の早期執行を求める意見書の提出に関する要請」は、議員からの提案であり、市議会が決議した市の事業の執行に支障がないよう、国に対して政策方針の早期決定を求める意見書を提出するようにとの要請であり、全会一致で意見書を提出すべきものとの審査結果となった。

現地調査では、東御警部交番において、市内の子どもの通学の安全、防犯等について交番所長と懇談した。また、浅間サンラインの通学路として使用されている地下道の内部見通しの確認用ミラーの設置状況を調査した。

が加わったこともあり、市民病院の入院患者数は年間1万6837人(二日平均46・1人)で、前年より4348人(34・8%)増加。外来患者は年間5万4008人(一日平均204・6人)で、前年度より714人(1・3%)増加し明るいきざしが見えて来た。今後さらに医師確保に努め充実を図りたい。

現地調査では、やえはらデイサービス「みはらしの郷」及び海善寺の小規模多機能型居宅介護施設「愛和園」を視察した。

「みはらしの郷」は眺めの良い景色と田園風景の中で、足湯もあり一般の方にも開放している。「愛和園」は静かな部屋が多くあり、周囲のベランダで歩行練習もできる施設である。双方の職員の方々には心よく説明をいただいた。



海善寺の「愛和園」にて説明を受ける

64号、議案第66号及び議案第67号については、3議案とも全会一致で原案のとおり認定した。

その後、現地調査を行い、田中駅南口自由通路については、一部設計変更の説明があり、本年11月完成に向けて急ピッチで工事を進めている状況を視察した。また、ワイン等醸造及び

農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業」で、称津地区活性化計画に基づき「地域間交流の促進による地域活性化」と、「果実酒を地域特産品として創出し、生産・販売量増加を図り、耕作放棄地の解消に資する」を目標に、事業主体は㈱リュードヴァンによるもので、その代表の小山氏より説明を受けた。巨峰とともに醸造用ぶどうの一大生産地を形成し「ぶどうの王国」を推進することを目的として、国に「とうみSUNライズワイン・リキュール特区」の申請を行い、構造改革特別区域法にもとづき認定を受けたものである。当事業を実施し地域の活性化を目指し、併せて地域で生産された果実の生産量の増加を図り、将来的に市全体として面的農地の利用増進と、耕作放棄地の解消につなげることに期待している。



常任委員会行政視察報告

日程 5月11～13日

愛知県高浜市

○まちづくり協議会特派員制度について

三重県伊勢市

○ふるさと未来づくりについて

岐阜県岐南町

○通学安心システムについて

愛知県高浜市で設立されたまちづくり協議会特派員制度は、地域住民と行政がまちづくりの対等なパートナーとして、地域課題の解決に向けて協議・検討・実践をし、地域の発展に向けた協議によるまちづくりを推進するため、特派員として任命された市職員が「橋渡し役」として活動し、住民力の向上と職員力の向上を目指している。

小学校区ごとに立ち上げられているまちづくり協議会特派員の主な役割は、相



議場の様子（高浜市）

日程 6月23日～25日

滋賀県甲賀市

○生ごみ堆肥化循環システムについて

三重県伊賀市

○住民自治協議会について

静岡県袋井市

○健康チャレンジ!!すまいる運動について

甲賀市は、滋賀県東南部に位置し、人口は9万5450人。平成16年10月1日に旧甲賀郡の5町が合併し誕生した。生ごみ堆肥化の取組みは、旧水口町において開始され、甲賀市全域に拡大されている。目標2万世帯に対し、現在7300世帯が取り組んでいる。

生ごみ堆肥化システムは、まず各家庭で生ごみ処理容器（ポリバケツ）を購入し、市から配布される種堆肥（8L入り、元は牛糞完熟堆肥）と生ごみを交互に入れてサンドウィッチ方式により処理。次に、家庭で処理した生ごみを、ごみステーションに設置の回収ボックスに投入。週2回収集車で回収し、リサイクルセンターで完熟堆肥となったものが、種堆肥として再び配布される循環システムである。

参加世帯は種堆肥を持ち帰り、家庭での生ごみ処理に利用するほか、家庭菜園やプランター等に利用している。

日程 5月19日～21日

三重県伊賀市

○農事組合法人伊賀の里モクモク手作りファーム

三重県いなべ市

○「農業公園事業」について

岐阜県飛騨市

○「体験学習による交流人口の拡大」について

全国各地で荒廃農地対策が課題となっており、当市においても例外ではない。

そこで、荒廃農地の有効活用と都市との交流を図った三重県いなべ市の「農業公園事業」に着目した。

いなべ市では、高齢者が生きがいをもった生活が出来るようにする元気高齢者対策と景観や水源を守る農業の多面的機能を重視し、地域農業を守る対策が喫緊の課題であった。

そこで、荒廃農地を有効活用し、都市農村交流拠点（農業公園）を整備し、都市と農村との相互理解の促進、高齢者就業機会の確保、農地の新たな活用による特産品開発、生産者の生きがい発揮による地域の活性化を図ることとした。

38haの梅林公園には、実梅を中心とした広大な梅林と、花梅を中心とした梅苑、農業体験が可能なクラインガルデン、ブルーベリー園を配し、18haのエコ福祉広場には、四季折々の花広場、パ

総務

社会

産業

談役としての対応や、住民の意見を把握し、各種行政計画や施策への反映、総合計画策定作業の共同実施等である。

地域住民と行政がまちづくりのパートナーとして、地域の課題を解決するとともに、地域の発展に向けた協働によるまちづくりを推進することにより、構造改革が目指す「住民力の強化」と「職員力の強化」が図られている。今後も小学校区ごとの「地域計画」を、まちづくり協議会とまちづくり協議会特派員を中心とする市職員との協働作業により策定し、地域の特性や資源を活かした地域づくりを進めていく予定ということである。

市民、市職員ともに地域の発展のために積極的に活動する姿勢は、今後のわが市の市政運営にも参考になるものではないかと考えられる。



通学安心システム（岐南町）



生ごみ堆肥化循環システムの説明を受ける

事業主体は市だが、運営は民間企業（㈱水口テクノス）に委託。堆肥化施設の建設費3億円、用地費1億円は水口テクノスで全額負担した。市の委託料は年間約8000万円。

リサイクルセンターは工業団地内にあるが、周辺においてにおいは気にならず、一次発酵処理施設の生ごみ投入付近では若干におったが、悪臭ではなく堆肥のにおい程度。二次発酵処理施設に至っては、ほとんどにおいを感じない状況であり、ハエなどの虫も発生していなかった。

ゴルフ場が整備され、地域住民、都市住民にとつての憩いの場・農業体験の場として、有料ながら年間2万人から2万5000人が訪れており好評とのことである。

整備・管理にあたっては、特産品開発等の①農業振興、生ごみの堆肥化及び家庭用廃食油の軽油化等、②循環型社会の実現、イベント開催等による③農村と都市との交流、④高齢者活躍の場創出という4つの理念の基に実践されており、農業分野のみならず市の施策との関連性が明確であることが伺えた。

多額の起債事業でもあり、基金を取り崩しながらの償還を行っており、今後の事業推進においては採算性の確保が大きな課題になるとの説明もあった。

事業執行に課題は付き物であるが、明確な理念と熱意が最重要であることを改めて認識した。説明をした職員の方の、熱意と充実感に満ち溢れた表情が印象的であった。



いなべ市農業公園ラインガルデンの様子

市政

を問う

本定例会の一般質問は、9月8日・9日の2日間にわたり行われ、12人の議員がそれぞれ行いました。その内容を要約してお知らせします。

質問項目

小山義明

- ・ 新型インフルエンザの秋から冬への対応・対策はどうか。
- ・ 東御市では、防災対策はどのように具体化されているか。
- ・ 東御市南西部（西海野）の道路整備について。

阿部貴代枝

- ・ 子どもたちの声が聞こえるまちづくりを。

長越修一

- ・ 地球環境を守るためにすぐを出そう！
- ・ 市内小中学校の児童・生徒の実情について

三縄雅枝

- ・ ヒブワクチンに公費助成を
- ・ C A Pプログラムの取り組みについて

蓮見喜昭

- ・ 市民病院について
- ・ 中山間地域等直接支払制度について

石和 大

- ・ 今後の財政見通しについて
- ・ 市内公園の管理体制と今後の利活用について

依田政雄

- ・ 新型インフルエンザ対策について
- ・ 地域経済の活性化について

櫻井寿彦

- ・ 治山治水対策の推進について
- ・ 通学児童・生徒の安全確保について
- ・ 市民の安全と地域防災対策の推進に

清水新一

- ・ 廃棄物対策について
- ・ 上田地域広域連合ごみ処理施設について

青木周次

- ・ 東御市4万人構想について
- ・ 雨水排水対策について

山崎美喜子

- ・ 中小業者の仕事おこし危機打開の支援策について
- ・ 子どもが安心して学べる学校づくりについて

若林幹雄

- ・ ゴミ減量化への取り組みについて
- ・ 農業振興への取組みと新規就農者支援について

一般質問



小山義明 議員

問

新型インフル対策を万全に

答

感染の拡大防止を図っていく

問 東御市の小中学校で感染者が発生し、全国的に夏から大流行の兆しが出ており、秋から冬にかけて大規模な感染拡大が心配される。市民の命を守る真剣な対策はどうか。

総務部長 保育園、小中学校などでのマスクの着用、手洗いの励行など感染防止策の徹底とともに、早期発見で対

応を強化すること、また社会福祉施設での予防対策の周知徹底を図っている。患者発生時には市内すべての医療機関で受け入れることになっており、情報提供をはじめ連携の強化を図っていくたい。

東御市の防災対策は

問 東御市では防災対策はどのように具体化されているか。

産業建設部長 市内には急傾斜地崩壊特別警戒区域が126カ所、土砂災害警戒区域が24カ所ある。今年ハザードマップを全戸に配布し、警戒をよびかけるとともに、県と合同でパトロールをし、点検している。台風や集中豪雨時には巡回し危険発生の早期発見に努めている。

西海野地区の道路整備について

問 国道18号上田バイパス、海野バイパス、152号バイパス、他の進捗状況はどうなっているか。

産業建設部長・市長 18号バイパスは



患者発生時には重要な役割を果たす市民病院

9月測量・来年度設計。海野バイパスは、今年度測量と設計を、来年度から実施。今年度2300万円、事業費は7億3000万円を予定している。

問 外で遊ぶことや年齢を超えて遊ぶことが少ない子供たちにとって、児童館の存在は貴重なもの。働く親の支援も含めて、学校が休みの時、9時ではなく8時開館ができないか。

民生福祉部長 児童クラブ未整備地域



ダンボールを使用した生ごみの堆肥化



阿部貴代枝 議員

問 まちかどに子どもたちの声が聞こえるまちづくりを

答

親子や家族の絆を深める時間を大切に過ごせる方策を推める

については、要望される家庭や児童の状況を踏まえ、必要があれば対応を検討したい。
問 少子化対策としての、結婚の活動支援をすることの認識が低い。市として、いろいろのところでやっている結婚相談の連絡調整をすること共に、積極的に政策として取り組めないか。
市長 婚活の推進は皆さんがいい出会い

いをしていただくことが重要。市としてどのようなお手伝いができるかという点に関して、前向きに検討していく必要があるかなと思う。
『地球環境を守るためにずくを出そう』

問 生ごみの堆肥化は、施設を作るのではなく、堆肥の基本を知れば自分で処



長越修一 議員

問

小中学校児童・生徒の実情は

答

長野県は、不登校児童・生徒の割合が、全国で上位

問 市内小中学校、児童・生徒の不登校の状況はどうなっているか。

教育長 市内では、小学校は県平均より若干低く、中学校では県平均を上回っている。しかしながら、各学校での

真剣な取り組みにより、小、中学校とも年度内に半数以上の児童・生徒が学校に通えるようになってきている。

問 全国学力テストの結果、公立6年

生では、保護者の年収が高い世帯ほど学力が高いとする文部科学省の調査について、当市も同様とすれば、どう考えるか。

教育長 当市にこの結果が当てはまるかは、保護者のデータがないため、安易に判断できない。また市内各校の就学援助対策率と学力調査の結果には、

顕著な相関関係は見られなかった。親



市内の小中学校の不登校児童の割合は県平均より低い

の背を見て子は育つ、親の姿が子供の心を育て、考え方、行動に及ぼす影響は大変大きいと思う。親自らが夢や生きがいを持って毎日を過ごし、子供が規則正しく生活を送れるよう意識を持つことが大切だ。
※また、東御清翔高校の多部制単位制への転換について質問し、東御清翔高校が本当に地域住民の期待にこたえられる学校になるか、安心できるようなプランを描いて説明してほしいと、県教育委員会に対して強い情熱と信念を持って当たってほしいとお願いしていると答弁があった。



三縄雅枝 議員

問

ヒブワクチンに公費助成を

答

来年度の予算に盛り込む

問 乳幼児にとって極めて重篤な感染症である細菌性髄膜炎は、5歳未満の発症者が年間600人以上で、そのうち5%が死亡、約20%が難聴、発達障害などの後遺症が残るといいます。その対処法としては、罹患前のヒブ（ヘモフィルスインフルエンザ菌B型）ワクチンの接種が有効であると言われていて、一回6千〜8千円、4回の接種は負担が多いので、

市として助成する事はできないか。

市長 ヒブワクチンはフランスからの輸入という状態の中で認可後も間に合わない状況にある。現時点では月20数件の接種が可能になっている。4回接種となると高額になるので、公費の助成が必要であると考える。来年度の予算には盛り込ませていただければと考える。



22年度からワクチン接種に公費助成が期待される

キャップ
CAP
(Child Assault Prevention)

プログラムの取り組みについて
＝子どもへの暴力防止

問 CAPとは、子どもがあらゆる暴力（虐待・いじめ・誘拐・痴漢など）から自分を守るための人権教育プログラムである。最近いじめによる不登校・薬物汚染の低年齢化等、子どもたちを取り巻く環境は非常に厳しいものがある。そういう中で自身を見失わず、しっかりと生きる力を育む事が大切である。CAPプログラムは生きる力を育むのに大変有効であると言われる。学校現場で取り組んではどう考えるのだろうか。

教育長 以前和小学校がCAPプログラムを実践したことがあるので、いかようなものであったか、効果はどうであったかを検証し、今後CAPプログラムがどうあるべきかを考えていく。

農業振興について

問 中山間地等直接支払制度は市内農業を活性化するにあたってどのような役割を果たしているか。そして今年はこの制度の最後の年と聞いたが、今後の見通しは。

産業建設部長 この制度は傾斜地の農地保全、耕作放棄地の発生防止、認定農業者や新規就農者の確保と育成といった取組みも促進され、農業全体の活性化に大きな役割を果たしていると考えられる。今年度は第2期計画の最終年度にあり、来年度の農水省予算概算要求においては第3期対策として、本制度の継続、充実が盛り込まれていることから今後とも情報収集に努めたい。



院内助産所開所に向けて準備が進む

問 市民病院への一般会計からの繰入金金は毎年基準額を超えているが、病院側の認識は。そして累積赤字を今後どのように減額していくのか。

病院事務長 市からの繰入金を含めて収支の均衡を図っているが、累積欠損金



蓮見喜昭 議員

問

市民病院の今後の経営について

答

よりよい形で維持するため、市長が先頭に立って頑張っていく

を解消していくことは当面の間は難しい状況にあると考える。公立病院改革プランの中でもあげているが、医師の確保をして、収入アップが図られるものと思う。さらには透析室を増床、業務委託等により費用の圧縮をはかっていく。

問 来年度にオープン予定の院内助産所、そして増床計画中の透析室の現在の進捗状況は。

病院事務長 来年度3月後半に出産予定

の妊婦さんを対象に8月から出産の予約を開始し、8名の予約を受付した。ただ建物については国からの内示が遅れているため、2月上旬完成が遅れる見込みである。透析室については請負業者を決定し、契約事務を進めている最中である。本年度実施計画を行い、来年のできるだけ早い時期に完成を目指したい。



石和 大 議員

問 市内公園の安全確保を
いかに施策するか

答 実態調査をし、
早急に体制を整えたい

問 21年度の財政見直しについて、不況の長期化による税収減等により、事業執行に支障はないか。

市長 予算編成に当たり、経済危機に伴う税収減等を厳しく見込んでおり、現在のところ当初予算を確保でき、事業執行できる見込みである。

問 失業等により、税金が払えない状況になっている人々を把握しているか、

また今後の予測はあるか。
市長 分納等の相談件数の著しい増加は現時点ではない。しかし、今後については予測がつかない。納税者の実態を的確に把握し、納税相談をさらに充実し、収納対策を講じる。

要な整備をいかに進めるか。
市長 10年以内にやるべきハード事業は前倒ししてでも特別債を使った方が得策という考え方が一般的である。本当に必要な事業かどうか精査し、議会の判断も仰ぎながら進める。
問 各区にある位置づけが明確でない公園の管理責任はどこが負うのか。
総務部長 原則として地元区、もしくは土地所有者等において管理されており、管理責任も同様と考える。
問 十分な財源を持たない区が、公園を整備し、管理責任を負う事には限界がある。行政がいかに関わるか。
総務部長 公園の危険箇所の把握等実態調査をし、維持改善を図る。



公園の危険箇所の把握がされる

問 新型インフルエンザの感染の早期発見や拡大防止にどのように取り組むのか、対策、対応はどうか。
総務部長 学校現場等では、教諭等の指導で手洗い、うがい等の励行と咳



依田政雄 議員

問 新型インフルエンザ対策について

答 国や県との連携を図り、適切な情報や予防策等の周知を図る

予防の第一は手洗い



エチケットを実施し、保護者にも事実等の周知と感染予防を呼びかけている。(高リスク者対策、介護・福祉施設等での対策について答弁があった。)
健康福祉部長 接種費用の補助については、国の動向を見て対応し、休園した場合は保育料は日割り計算で行う。休園した期間を除き保育料をいただき、仕事を休んで保育できない保護

者に対しては、緊急保育等の対応をする。基礎疾患を持った子供については、早期のワクチン接種の予防を考えている。ハイリスク者に対する物的支援については、国の動向を待って考えていく。
病院事務長 市内のベット数は、各医療機関合わせて105、人口呼吸器は市民病院で3、タミフルは200人分、

リレンザは150人分持っている。

地域経済の活性化について

問 建設業を取り巻く経営環境は厳しい状況になっている。地域経済の活性化に向けた取り組みはどうか。
産業建設部長 地域産業の重要な業種として、補正予算の前倒し等を行い、

切れ間のない受注機会を確保し、市内全力を挙げて取り組んでいる。
問 国の補正予算の凍結意向における院内助産所建設への影響は。

市長 9月11日に林野庁から内示が出る予定であったが、今は待っている。さらに延びれば重大な影響が発生する。組閣があり次第、迅速に執行していたきたいと申し入れをしている。



櫻井寿彦 議員

問 常田交差点へ横断歩道橋の設置について

答 地元・国・県と率直な意見交換をし、次善の策を検討したい

問 国道18号の常田交差点は、2万5千台(12時間調査)の車が通過している。4月に保護者による春の安全街頭指導が実施され、歩車分離式信号機の設置を要望されたと聞かすが、横断歩道橋との比較と、その可能性は。

教育次長 歩車分離式信号機は通行車両と歩行者を完全に分離でき、安全確保は可能となるが、渋滞が発生し、難

しいとの判断である。

市長 L字型歩道橋の場合1億円が予想される。子供達の安全確保や利便性、費用対効果を含め総合的に検討したい。

治山治水対策の推進について

問 土砂災害洪水ハザードマップが全戸配布され、市内に161ヶ所の土砂災害特別警戒区域が指定されている。

市民の安全対策の推進について

問 ナイターソフトの試合中、心臓疾患で亡くなるという痛ましい事故が発生した。校舎内に設置されているA E

東部地区に3つの砂防ダムが整備されているが、市民の安全は確保されているか。また、所沢川沿いには多くの福祉施設がある。非常時の避難体制は。
産業建設部長 ダムは河川下流域の災害防止のため、国の基準に基づき安全が確保されている。ゲリラ豪雨など予想を大幅に超えた場合、対処しきれない事態は否定できない。自主的避難をしていただくためのマップである。
市長 「福祉の森」の避難訓練も各施設と連携し、前向きに実施して行く。



市内で一番交通量の多い常田交差点早期の安全対策が求められている

問 田沢の廃棄物の保管されている場所は地目が畑であり、農地法に違反しているのではないか、今までの経過と対応はどうなっているか。



廃棄物の山となっている農地



清水新一 議員

問 田沢における廃棄物保管は農地法の違反ではないか

答 違反転用事業である

市民生活部長 地目は畑であり、ソバ等を栽培するということで許可がなされたわけだが、違反転用の事実から、地方事務所と協議しながら農地取得の経緯を踏まえた中で、業者に対して現状回復の指導を行っている。現在のところ業者は廃棄物の撤去を約束しているが、今後改善の見込みがないと判断された場合には、地方事務所と協議し

て、違反転用に対する処分も視野に入れた対応を考えている。一日も早く廃棄物が適正に処分されるよう、県および地元対策委員会との連携のもと、継続して根気よく指導していきたい。

問 保管場所が農地法違反とわかっている中で、具体的な手続きはどうなっているか。

産業建設部長 既に違反転用事案報告

というものは済んでおり、現在、本人が撤去の意向を示しているため、今後は正式に撤去の意向を文書で求めている段階である。

東部クリーンセンターの運営について

問 上田地域広域連合で、ごみ処理施設が白紙撤回になり、東部クリーンセンターの運営にも大きな影響があると考えるが、延命化についての対応はどうなっているか。

市長 統合クリーンセンターが建設されるまでの間、焼却ごみの減量化で炉の消耗を少しでも抑え、計画的点検・修繕、適切な運転管理等によりできるだけ延命化を図っていきたい。



青木周次 議員

問

雨水排水対策の今後の計画は

答

排水路整備、里山整備、治山事業を組み合せ実施

問 市内には数多くの河川、田畑、山等があるが、特に北御牧地区では、水田の排水を山へ直接排水している箇所も多くあるが今後の整備計画は。また、里山整備では、現状の森林は保水力が低下し水害の原因になっているが今後植林の補助率を上げて、事業の推進に努めてはどうか。

産業建設部長 排水路整備、里山整備

治山治水対策については、地域の実情を調査する中で関係の皆様や県との連携をとり、有利な事業を導入していく。特に北御牧地区においては、下之城地域における御牧原台地からの排水処理が大きな課題となっているので、下之城用水路の排水対策と合わせて、計画的な整備をしていく。里山整備については、保水力を高める為に植林が必要



計画的に進められている排水路整備

なので、今後補助率を検討していきたい。

東御市4万人構想について

問 東御市の人口見込みが2020年には、2万9837人になり人口の減少が進むことが見込まれているが市長の考えている施策では、4万人構想はむずかしいと思うが、合併を考えているのか。

市長 第一次総合計画の平成22年以降の実施計画で策定した時点で人口増加の具体的施策を明らかにする。合併は考えていない。

道路の維持管理、土砂流出等の災害、公害防止等の事項である。事業者との協定は、東信森林管理者と事業者が締結することで合意できた。

問 今年度の公共事業の地元業者への発注件数、発注率はどうか。中小業者

に直接公共事業の機会を保障する、小規模工事希望登録制度を創設してはどうか。幅広い波及効果を生む、住宅リフォーム助成制度を創設してはどうか。

総務部長 今年度の公共事業の発注数85件、うち79件、率で93%。発注総額3億円余、うち2億円、65%を市内業者が受注した。市の制度は、小規模な修繕工事について、建設業許可がなくても登録できる。リフォーム助成は、下諏訪町がやっている。市も調査研究したい。

子どもが安心して学べる学校を

問 子どもの貧困が深刻な状態にある。



山崎美喜子 議員

問

中小業者の仕事おこし
危機打開の支援策を

答

市も調査研究したい

東御市の実態はどうか。義務教育は無償の立場にたつて、保護者負担を減らすべきではないか。

学習におくれがちな子の、学力をつける援助は、どうされているのか。

教育長 貧困の詳しい状況は、現時点では把握していない。

保護者負担の軽減は、検討してみた。

学習支援は、特別支援教育支援員6名を配置し特別支援をしている。

新張山採石場の対応は

問 県への意見書は、いつ、どんな内容で提出したのか。事業者との協定は、どんな内容で結ぶのか。

産業建設部長 6月12日付で上田建設事務所に提出した。内容は交通安全、



特別支援教育支援員の授業の様子



若林幹雄 議員

問

ごみ堆肥化について
どう考えるか

答

信州大学と産学官で
共同研究したい

問 ごみ堆肥化は今年の市の重点施策
になっているが。

市民生活部長 可燃ごみのうち4割は
生ごみだ。コンポストや電気式生ごみ
処理機に補助してきたが、腐敗や虫の
発生などの問題がある。堆肥化は販売
先やコストなどハードルが高い。
問 生ごみの堆肥化に取り組んでいる

が悪臭や虫の発生などで断念する方が
多い。市民まかせではなく行政が責任
を持って進めるべきだ。

市民生活部長 今後信州大学と生ごみ
の堆肥化について共同研究を進めたい。
問 これから研究するというのはタイ
ミング的にずれていないか。
市民生活部長 生ごみの堆肥化をどの

レベルまで行うかが課題だ。堆肥とし
て農地還元を含めて研究したい。
市長 出発してからの失敗は許されな
い。猶予をいただきたい。

新規就農者と里親への支援を

問 金融危機の影響で県の農業育成基
金が枯渇し、新規就農者への助成が止
まっているが。

産業建設部長 現在新規就農者は研修
生を含め19名だ。市内ぶどう園の13%
を栽培している。育成資金は平成21年
度から休止となっている。今後、市の
援助制度を再検討したい。里親の方々
は負担も多く改善策を検討したい。
問 新規就農事業が発展したのは、県



新規就農事業の核
就農トレーニングセンター（出場）

の手厚い支援と就農者のために親身に
なって取り組んできた里親の存在があ
る。しかし経営不振や家族の高齢化な
どで里親制度の継続が困難になってき
ている。
市長 県の基金の一日も早い再開を要
望している。市としてこの制度の補完
や里親制度について考えたい。

平成21年第3回定例会で
承認・可決した条例等

◆議案第75号

東御市職員定数条例の一部を改正す
る条例

東御市民病院へ院内助産所を設置
すること及びこの準備のため並び
に医師等の確保のため、病院事業事
務部局の職員を増員する。

◆議案第76号

東御市一般職の職員の退職手当に関
する条例の一部を改正する条例

退職後に在職中懲戒免職処分を受
けるべき行為をしたと認められる

に至った者の退職手当の全部又は
一部について、支給制限及び返納さ
せることができることとしたほか、
支給制限等の処分について調査審
議するため退職手当審査会を設置
する。

◆議案第77号

東御市営住宅管理条例の一部を改正
する条例

市営住宅への入居者及び周辺住民
の生活の安全と平穏の確保等のた
め、暴力団でないことを入居資格と

◆議案第78号

する等、市営住宅における暴力団員
排除について規定を定めた。

◆議案第79号

長野県市町村自治振興組合を組織す
る市町村数の減少について

◆議案第80号

長野県後期高齢者医療広域連合を組
織する市町村数の減少について

◆議案第81号

人権擁護委員候補者の推薦について
「土屋哲夫さん（金井）」

請願・陳情等

◆国に対する補正予算未執行部分の早
期執行を求める意見書の提出に関
する要請

▽提出者 堀 高明、長越修一、
櫻井寿彦 採択

▽審議結果 (請願第1号)
採択

◆保険でより良い歯科医療の実現を求
める意見書採択について

▽請願者 「保険でより良い歯科医療を」
長野連絡会

▽紹介議員 小山義明

▽審議結果 (請願第2号)
採択

◆長野県独自の30人規模学級の中学校

全学年への早期拡大と複式学級の解消、県独自に教職員配置増を求める意見書提出に関する請願書

▽請願者 東御市教職員組合

▽紹介議員 山崎美喜子

▽審議結果 不採択

(請願第3号)

◆30人学級の早期実現、教職員定数増を求める意見書提出に関する請願書

▽請願者 東御市教職員組合

▽紹介議員 山崎美喜子

▽審議結果 不採択

(請願第4号)

◆「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める請願書

▽請願者 東御市教職員組合

▽紹介議員 山崎美喜子

▽審議結果 採択

(陳情第10号・継続)

◆国直轄事業負担金に係る陳情書

▽陳情者 人によさしい
地域づくりの会

▽審議結果 採択

◆ヒブワクチンの早期定期予防接種化等を求める陳情書

▽陳情者 長野県保険医協会

▽審議結果 採択

◆肺炎球菌ワクチンへの公費助成等に関する陳情書

▽陳情者 長野県保険医協会

▽審議結果 採択

(陳情第13号)

◆細菌性髄膜炎から子どもたちを守るワクチンの定期接種化を求める陳情書

▽陳情者 人によさしい
地域づくりの会

▽審議結果 採択

本会議において採択された請願・陳情等について、関係機関への意見書の提出が議員提出議案として提案され、それぞれ可決された。意見書の主な内容は次のとおり。

○保険でより良い歯科医療の実現を求める意見書

- 1 患者の窓口負担を軽減すること。
- 2 良質な歯科医療が保険で提供できるように診療報酬を改善すること。
- 3 安全で普及している歯科技術は速やかに適正な点数で保険導入すること。

○「義務教育費国庫負担制度の堅持」を求める意見書

- 1 国の責務である教育水準の最低保障を担保するために必要不可欠な義務教育費国庫負担制度を堅持し、負担率を2分の1に還元すること。
- 2 国庫負担金から既に除外した教材費、旅費、共済費、退職手当、児童手当などを還元すること。

○国直轄事業負担金に係る意見書

- 1 これまでの直轄事業に係る内訳明細の開示を行うとともに、負担金の経費内訳とその積算根拠を地方

自治体へ情報開示すること。また、国と地方が対等な立場で協議し、地方の意見が反映されるよう、透明性の確保・充実に努められたい。

- 2 維持管理費に係る負担金については、維持管理に責任を負う者が負担することが原則であり、早期に廃止されたい。
- 3 整備費に係る負担金についても、国と地方の役割分担を明確にして直轄事業の範囲を必要最小限にする

とともに、地方の受益と負担の観点から必要な検討を行い、制度の根幹を見直されたい。

○ヒブワクチンの早期定期予防接種化等を求める意見書

- 1 ヒブ重症感染症(髄膜炎、喉頭蓋炎、および敗血症)を予防接種法による定期接種対象疾患(一類疾病)とすること。
- 2 ヒブワクチンの国内の供給体制を確保すること。
- 3 肺炎球菌ワクチン(7価ワクチン)の早期薬事法承認のための手立てを講じること。

○高齢者の肺炎球菌予防接種への公費助成等に関する意見書

- 国においては高齢者の健康増進のために、肺炎球菌ワクチンの予防接種について予防接種法上の取り扱いを検討するとともに、高齢者に対して公費助成制度を設置することを強く要望する。

○地方自治の継続性を守るための予算執行を求める意見書

新政権の発足とともに、民主党のマニフェストに示された政策・制度への変更が進められることとなります。

現在地方自治体は、平成21年度予算及び同年度第1次補正予算を前提に事業を計画し、執行を指し、準備を行っているところです。

新政権によって、予算執行が見直されることになれば、すでに関係事業を執行中、あるいは執行準備が完了し、当該事業の広報・周知が済んでいる地方自治体にとつて、誠に憂慮すべき事態の発生が懸念されます。

万一、関係事業を中止せざるを得ない事態になれば、地方自治の混乱を招くだけでなく、地域雇用情勢にも深刻な打撃を与え、景気底入れの兆しの出でた日本経済に悪影響を及ぼしかねない恐れがあります。更に、生命の誕生に関わる事業の遅延等、生命に関わる医療行政への影響も発生します。

上記の状況を考慮し、政府におかれましては、政策の見直し、税制の改革、制度の変更にあたっては、平成21年度予算及び同年度第1次補正予算によって、地方自治体の進めてきた施策や事業について財源問題で執行に支障が生じることのないよう行われることを強く求めます。

全員協議会だより

全員協議会が開かれ、まちづくりにかかわる重要事項について、行政側より説明を受けた。その主な項目は、左記のとおりである。

◎財政健全化指標について

平成21年度決算における財政健全化比率の状況について、①実質赤字比率 ②連結実質赤字比率 ③実質公債費比率④将来負担比率それぞれの暫定値等について説明を受けた。東御市の財政状況としては、現在のところ特に問題なく推移しているとのことであった。

◎平成21年度後期高齢者医療保険料の算定誤りについて

去る7月16日に発送した「平成21年度後期高齢者医療保険料」の決定通知の一部に、算定誤りがあったとの説明と、市の信用を失ったと、絶対に起こしてはならない誤りであった旨の謝罪があった。原因は市役所の電算システムの変更に伴うデータの入力ミスとのことであった。

◎長野県後期高齢者医療広域連合議会議員の決定について

6月に開催された選挙会において決定された「長野県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙」の当選人16名(市長から選出…3名、町長から選出…3名、市議会議員から選出…5名、町村議会議員から選出…5名)についての報告があった。

◎東御市観光大使の設置について

東御市に係る人脈を生かし、当市の自然環境及びブランドを広く全国に発信することにより、知名度の向上と誘客を図ることを設置理由として、「元関脇高見山 渡辺大五郎さん」を任命する。委嘱式は9月開催の巨峰の王国祭り開会セレモニーで行う。大使の任期は2年とし、今年度中に2～3回の派遣要請を行う。

◎「ふるさと雇用再生特別交付金」・「緊急雇用創設事業」の進捗状況について

実施期間は平成21年4月から平成23年度末までの3年間。東御市配分額は3年間で ①ふるさと雇用再生特別交付金事業として3600万円 ②緊急雇用創出事業として9200万円が交付される。

◎「農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業」について

国によって平成19年に制定された「農山漁村の活性化のための定住及び地域間交流の促進に関する法律」を受け、市内で最も耕作放棄地が多い祢津地区を対象とした「祢津地区活性化計画策定」に基づき、事業主体の「㈱リユードヴァン」へ支援交付金(平成21年度…4886万円)として、ワイン等醸造施設及び直売施設の整備に対し交付する。

◎まちづくり交付金事業(海野地区)計画について

事業計画としては、平成22年度から平成26年度の5年間で、総額10億円の予算で次の内容の事業を実施する。①海野バイパス新設事業 ②市道田中西海野線舗装修繕工事 ③田中30号線整備工事 ④海野格子の家(仮称)整備工事 ⑤西

海野歩道整備工事 ⑥海野宿駐車場整備工事 ⑦海野宿東側排水路整備 ⑧海野宿西側排水路整備 ⑨海野宿北側排水路整備 ⑩看板整備事業 ⑪パンフレット製作事業。

◎国道18号バイパス(第二期工区)路線測量等について

平成21年度の事業内容として、東御市本海野～上田市国分の間、LⅡ4・1kmの調査設計(路線測量、地質調査、道路設計)に入る。今回の事業費は1・5億円。来年度より、設計協議、幅杭設置、用地測量・物件調査等と進む予定。

◎浄化槽協会の合併について

現在、東御市には旧東部町地域に「東部地区浄化槽管理協会」と、北御牧地区に「小北浄化槽維持管理協議会東御支部」が組織されており、合併時より1市2制度のままである。

保守点検費、清掃費、法廷検査費に大きな差があり、調整が困難だったため、平成20年度から両団体の役員会で合併に向けた検討をしてきた結果、平成22年4月1日を目標に「東御市浄化槽管理組合」に移行することが確認された旨の説明があった。

議会のうごき

8月 1日 市民まつり
 3日 議会運営委員会
 4日 佐久水道企業団議会定例会
 5日 小諸市・東御市議会議員研修会
 ボイス81上小地域会議
 社協理事会
 6日 小諸市外二市御牧ヶ原水道組合議会
 7日 県市議会議長会、県知事要望・県議会陳情
 森林林業林産業活性化促進議員連盟総会
 日独スポーツ交流ウェルカムパーティー
 9日 文化協会音楽部会発表会
 11日 みまき福祉会理事会・評議委員会
 15日 成人式
 21日 東北信9市議会正副委員長研修会
 25日 やえはらデイサービス・みはらしの郷
 竣工・開所式
 農業者年金協議会スポーツ大会
 26日 議会運営委員会
 議員研修会
 第4回議会改革推進委員会
 27日 上田市東御市真田共有財産組合決算審査
 30日 文化協会カラオケ部会発表会
 市民ゴルフ大会
 31日 東部湯の丸インター関連道路網整備促進
 期成同盟会総会、長野県要望・陳情

9月 1日 平成21年第3回定例会開会
 3日 議会運営委員会
 議会全員協議会
 5日 工業振興会・勤労者互助会
 ・羽毛田工業団地協議会合同親睦スポーツ大会
 子育てフェスティバル
 8日～9日 平成21年第3回定例会一般質問
 8日 議会運営委員会
 11日 平成21年第3回定例会総括質疑
 ・委員会付託議会運営委員会
 14日～16日 平成21年第3回定例会常任委員会
 16日 コミュニティFM放送セミナー
 17日 平成21年第3回定例会決算特別委員会
 平成21年第3回定例会正副委員長会議
 東御ブースターステーション建設工事起工式
 18日 道の駅来館者200万人達成記念祝賀会
 第5回議会改革推進委員会
 19日～20日 巨峰の王国まつり

19日 観光大使・元閣脇高見山・渡辺大五郎氏
 歓迎レセプション
 北御牧小学校運動会
 21日 北御牧地区敬老会
 22日 金婚祝賀式
 25日 平成21年第3回定例会閉会
 議会全員協議会
 26日 小学校運動会(東部地区)
 28日 塩尻市制施行50周年記念式典
 30日 山形県長井市議会視察来庁

10月 1日 第1回議会だより編集委員会
 川西保健衛生施設組合議会定例会
 3日 東御の日記念式典
 4日 総合体育大会
 5日 佐久水道企業団議会代表者会議
 和児童クラブ開設式
 5日～7日 会派公明党行政視察
 6日 保育園運動会(御牧原保育園を除く)
 7日 第2回議会だより編集委員会
 8日 各常任委員会行政視察報告会
 議会運営委員会
 上田バイパス第2期工区建設促進要望活動
 9日 上田地域広域連合議会代表者会
 10日～11日 火のアートフェスティバル
 10日 御牧原保育園運動会
 11日 名立・北御牧友好協会役員と懇談会
 13日 佐久水道企業団議会臨時会
 15日 東京・大阪間沿線経済団体
 リニア中央新幹線早期建設促進大会
 19日 第3回議会だより編集委員会
 20日 第6回議会改革推進委員会
 東信5市議会議員研修会
 21日 上田地域広域連合議会
 宮城県多賀城市議会視察来庁
 22日 各種団体親睦球技大会
 暴力追放長野県民大会
 23日 上田地域広域連合議会
 上田地域産業展
 第4回議会だより編集委員会
 24日 東京・東御市の会総会
 26日～28日 会派清和会行政視察
 26日 上田市東御市真田共有財産組合議会定例会
 28日 島根県雲南市議会視察来庁
 29日 議会報告会実行委員会(仮称)
 30日 東京都小金井市議会視察来庁
 31日 総合文化フェスティバル
 和小学校130周年記念式典

「一人ひとりが…」



宮坂 春代さん
(出場)

ちまたで噂されたような結果に終わった国政選挙でしたが我々の日常にどれほど変化があるのでしょうか。日米交渉、温暖化、待機児童などなど。田舎の生活では他事と思われがちですが、一人ひとりが真摯に考える時期がきているという選択結果だったのかなと思います。

身近では雇用、医療、年金とその好転が急務ですが、その下支えをするのはやはり一人ひとり。その個人の代表が市議会議員の方々です。先だって議会の一般質問傍聴の機会を得ました。実に活発にまた、真剣に質疑応答がなされていました。

どなたも他所の実情を精査され比較検討、再質問、再々質問また今後の展望など、私を知りたかったことは勿論、そう言う懸案があったことさえ知らなかった事案も数多くありました。一人ひとりが違った角度から異なる目線で、意欲的に

ある意味献身的に討議する姿勢に胸が湧き、咳をするのはばかられるような雰囲気でした。

市民病院の現状や感染拡大期が足下まで迫っているなかでの新型インフル対応などの答弁は、少なからず不安を払拭させるものではありましたが、こと生命に直結する事案への対応は敏速にかつ正確に執行して欲しいと思います。

政権交代により地方分権、財源移譲が加速されるのではないかと思われる一方で補正予算の一部凍結、見直しなど混沌とした先行きは否めません。

また、どこもかしこも財政難にあえぐ昨今ではありますが、インフルエンザワクチンの投与順位が決定した今、先送りできるものは置いておいて高齢者や子供への公費での接種を懇願するものです。

一人ひとりの負託を担う議員の皆さん、日々の研鑽、努力はいかばかりかと思われませんが、次世代への安心を担保するために重箱の隅から隅までご配慮くださるようお願いいたします。

末尾ではありますが、戦中戦後の瓦礫のなかからの脱出に、心血を注いでくださった方々の安寧な生活を願ひ併せて、議員の方々のご自愛専一を祈念いたします。

あともがき

今年はいつまでも梅雨が明けず長雨続きで、作物は日照不足になりました。農作物の作柄はいかがだったでしょうか。

8月の総選挙で政権交代が実現し鳩山政権が誕生しました。国民の支持率は7割台と高率。新政権に対する期待感が現れています。しかし一方では財源問題などの不安もあります。

そんな折、新政権の予算の執行停止という方針を受け、助産所の補助金が凍結されるといふニュースが流れました。

突然の発表に心配された皆さんも多かったのではないのでしょうか。これでは市民の期待に応えられないとして、議会としても補助金の早期執行を求める意見書を採択しました。幸い凍結解除となりましたが、一日も早い開所を願っています。

先日、地元の小学校と保育園の運動会を参観し、子供たちの元気印パワーに圧倒され、その成長を実感することができました。子供たちが元気に遊び、学べるそんな街を市民の皆さんとともに、力を合わせて作って行きたいものです。

若林 幹雄

広報委員

清水 新一
依田 俊良
蓮見 喜昭
土屋 仲吉
若林 幹雄

阿部貴代枝
石和 大
三縄 雅枝
町田 千秋